Partial English Translation of

Publication No. 61-056310A for UM

Claim

A belt for roller conveyor, in which sailcloth is deposited with an adhesive layer interposed thereamong, wherein

uppermost sailcloth in contact with a roller for carrier is flat-woven sailcloth having a half-mat structure, in which a warp is formed of two twisted treads and a weft is formed of one twisted thread.

⑲日本国特許庁（JP）　⑪実用新案出願公開

⑫公開実用新案公報（U）　昭61－56310

⑤1Int.Cl.⁴	識別記号	庁内整理番号	④3公開　昭和61年(1986)4月15日
B 65 G 13/07		7816－3F	
F 16 G 1/04		8312－3J	
// B 65 G 15/34		7816－3F	審査請求　未請求　（全1頁）

⑤4考案の名称　ローラコンベヤ用ベルト

②1実　願　昭59－140270

②2出　願　昭59(1984)9月14日

⑦2考案者　山本　和幸　小牧市大字北外山字哥津3600　東海ゴム工業株式会社内

⑦1出願人　東海ゴム工業株式会社　小牧市大字北外山字哥津3600

⑤7実用新案登録請求の範囲

接着剤層を介して帆布が積層されてなるローラコンベヤ用ベルトにおいて、

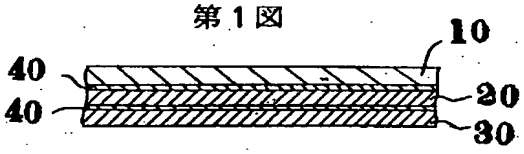
搬送用ローラと摺接する最上層の帆布を、撚糸2本を引揃えてタテ糸、撚糸1本をヨコ糸として平織り状に織成したハーフマット構造の帆布としたことを特徴とするローラコンベヤ用ベルト。

図面の簡単な説明

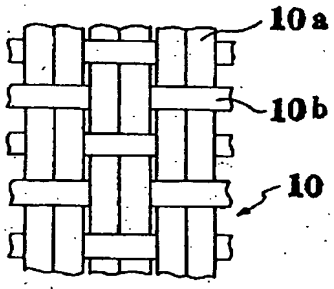
第1図は本考案の実施例を示すベルト長手方向部分断面図、第2図は本考案に用いるベルト最上層帆布の織成構造（ハーフマット織り）を示す部分平面図であり、第3図乃至第4図はベルトの使用態様を示す概略説明図であり、第5図は従来例に用いたベルト最上層帆布の織成構造（平織り）を示す部分平面図である。

10…最上層帆布、10a…タテ糸、10b…ヨコ糸、20，30…抗張力芯体帆布、40…接着剤層、50…ベルト。

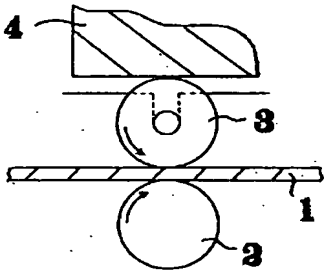
第1図



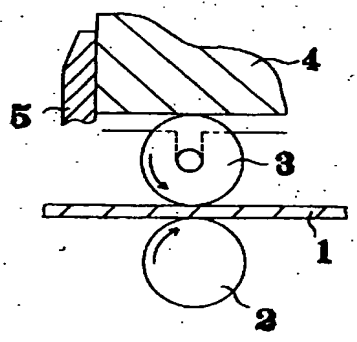
第2図



第3図



第4図



第5図

